

# 「フェミニズムがひらいた道」

～弱者が弱者のままで尊重される

社会を求めて～



富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。1993年東京大学文学部助教授（社会学）、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長。第20～22期学術会議会員。第23～25期日本学術会議連携会員。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のバイオニアであり、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。

【受賞歴】1994年『近代家族の成立と終焉』（岩波書店）でサントリー学芸賞受賞。2011年度、「朝日賞」受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」2019年、フィンランド共和国からHän Honours受賞（長年の男女平等への貢献に対する感謝状）2020年、「アメリカ芸術科学アカデミー会員」に選出される。

講師：上野千鶴子さん

社会学者・東京大学名誉教授  
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長

「フェミニズムはけっして女も男のようにふるまいたいとか、弱者が強者になりたいという思想ではありません。フェミニズムは弱者が弱者のままで尊重されることを求める思想です」

上野千鶴子著「フェミニズムがひらいた道」第6章より

フェミニズムの歴史と、これからの時代を生きるあなたへのメッセージ

11月12日(土) 13:30～15:00 定員150人

青森市男女共同参画プラザ「カダール」AV多機能ホール

申込・問合せ先 青森市男女共同参画プラザ「カダール」

(指定管理者:NPO法人あおり男女共同参画をすすめる会)

〒030-0801 青森市新町1丁目3-7 アウガ5階 TEL:017-776-8800・FAX:017-776-8828

メールkadar-kouza@kadar-acor.jp ホームページ<http://www.kadar-acor.jp/> ※メール送信の際、件名は「11/12講演会」と入力ください



主催:青森市男女共同参画プラザ「カダール」・特定非営利活動法人SOLO  
後援:青森県中小企業団体中央会

## 上野千鶴子さん 著書紹介

『上野千鶴子が文学を社会学する』(朝日新聞社)、『差異の政治学』『生き延びるための思想』(岩波書店)、『当事者主権』(中西正司と共著、岩波新書)、『ニーズ中心の福祉社会へ』(中西正司と共編、医学書院)『岩波シリーズ ケア その思想と実践』(共編著、全6巻、岩波書店)、『世代間連帯』(辻元清美と共著、岩波新書)、『家族を容れるハコ 家族を超えるハコ』(平凡社)、『老いる準備』(学陽書房)、『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』(法研)、『ひとりの午後に』(NHK 出版)、『女ざらい』(紀伊國屋書店)、『女は後半からがおもしろい』(坂東眞理子と共著、潮出版)、『結婚帝国』(信田さよ子と共著、河出書房)、『不惑のフェミニズム』(岩波現代文庫)、『ケアの社会学』(太田出版)、鼎談『フェミニズムの時代を生きて』(岩波現代文庫)、『現代思想 総特集 上野千鶴子』(青土社)、DVD ブック『生き延びるための思想』(講談社)、『ナショナリズムとジェンダー』(岩波現代文庫)、『生き延びるための思想』(岩波現代文庫)、『快樂上等』(幻冬舎)、『みんな「おひとりさま」』(青灯社)、『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ねますか?』(朝日新聞出版)『身の下相談にお答えします』(朝日新聞出版)『<おんなの思想> 私たちはあなたを忘れない』(集英社インターナショナル)『女たちのサバイバル作戦』(文藝春秋社)、『ニッポンが変わる、女が変わる』(中央公論新社)、『上野千鶴子の選憲論』(集英社新書)『何を怖れる』(岩波書店・共著)、『老い方上手』(共著・WAVE 出版)、『ケアのカリスマたち 看取りを支えるプロフェッショナル』(巫紀書房)、対談集『思想をかたちにする』『セクシュアリティをことばにする』(いずれも青土社)、『非婚ですが、それが何か?』(対談集・ビジネス社)、『おひとりさまの最期』(朝日新聞出版)、『上野千鶴子のサバイバル語録』(文藝春秋社)、『時局発言!』(WAVE 出版)、『また 身の下相談にお答えします』(朝日新聞出版)、『世代の痛み 団塊ジュニアから団塊への質問状』(中公新書ラクレ)、『おひとりさま VS ひとりの哲学』(朝日新書)、『戦争と性暴力の比較史へ向けて』(編著・岩波書店)『情報生産者になる』(筑摩書房)『女ざらい ニッポンのミソジニー』(朝日新聞出版・文庫)『上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください!』(大和書房)、『近代家族の成立と終焉 新版』文庫版(岩波書店)『人生のやめどき』(樋口恵子と共著、マガジンハウス)『女の子はどう生きるか 教えて、上野先生』(岩波ジュニア新書)、『在宅ひとり死のススメ』(文春新書)、『往復書簡 限界から始まる』(幻冬舎)、『これからの時代を生きるあなたへ』(主婦の友社)、『フェミニズムがひらいた道』(NHK 出版)、『まだまだ 身の下相談にお答えします』(朝日新聞出版)など著書多数。最新刊に『最期まで在宅おひとりさまで機嫌よく』(中央公論新社)。

WAN URL <https://wan.or.jp/>

## 「フェミニズムがひらいた道」申込書

11/12(土) 13:30~15:00

青森市男女共同参画プラザ「カダール」AV 多機能ホール (アウガ5階)

★下記のいずれかでお申込ください。

○電話 017-776-8800 (平日9時~18時まで)

○FAX 017-776-8828

○メール [kadar-kouza@kadar-acor.jp](mailto:kadar-kouza@kadar-acor.jp) (件名に「11/12 講演会」と入力)

○青森市男女共同参画プラザ「カダール」へ直接来館

キリトリ

令和 4 年 月 日申込

フリガナ お名前	連絡先電話番号

※いただいた個人情報は当事業運営上の目的以外で使用することはありません。

### 【参加にあたってのお願い】

- ★必ずマスクを着用してご参加ください。
- ★発熱や咳など、当日体調が悪い方は参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ★会場への入退室の際、検温と手指の消毒へのご協力をお願いいたします。
- ★イベント開催時、随時会場の換気を行います。
- ★ホール内は設備の関係上、飲食ができません。水分補給は会場の外でお願いします。
- ★新型コロナウイルス感染症拡大状況により、開催を見合わせる場合があります。予めご了承ください。